

② 鳥取市のR7年度一般会計当初予算

～人を大切にするまち、鳥取市～

“とっとり創生 2.0 明るい未来への前進” 予算

1. 予算編成の基本的な考え方

令和7年度は、深澤市政の3期目の最終年度であり、4つの柱からなる政策公約の実現に向け、目標を着実に達成させていくとともに、第1次鳥取市総合計画と第2期鳥取市創生総合戦略の総仕上げを行う年です。また、新たに第2次鳥取市総合計画と第3期鳥取市創生総合戦略を策定し、鳥取市の明るい未来に向けた取り組みを進める年となります。

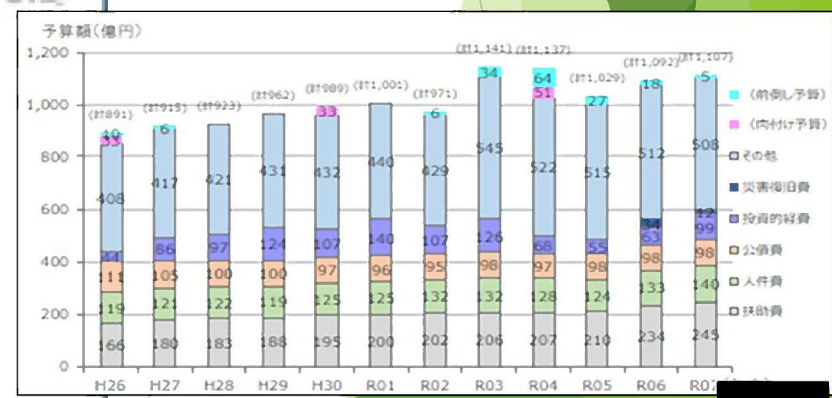
人口減少が進むなか、誰もが安心して住み続けられる持続可能な社会を目指し、麒麟のまち連携中核都市圏による地方創生の取り組み強化や物価高騰対策、まちの魅力向上、地域防災力の強化や地域共生社会の実現などをしっかりと前進させる予算編成とし、予算規模は対前年度28億円の増となる1,102億円、国の総合経済対策に呼応して1月・2月補正に前倒した予算と合わせた実質的な当初予算は、1,107億円となり、コロナ禍の期間を除き過去最大の積極型予算となっています。

また、鳥取市市政改革プランに沿った取り組みをはじめ、厳選した市債発行や発行抑制による市債残高の縮減、プライマリーバランスの黒字化など、持続可能な財政基盤の確立にも意を用いました。

2. 予算規模

○令和7年度当初予算			
一般会計	1,102億円	対前年度	+28億円、伸び率 +2.6%
○令和6年度当初予算	一般会計	1,074億円	

【令和6年度1月及び2月補正（国総合経済対策分）を含めた実質的な令和7年度当初予算の規模】
1,107億円 国総合経済対策分前倒し予算【1・2月補正】5.3億円



③ 鳥取市の新年度の主な地方創生交付金事業 1

【インバウンド誘致で切り拓く麒麟のまち圏域の未来創造事業】 令和7年度～令和9年度 期間事業費400,468千円

● **日本遺産「麒麟のまち」推進協議会の体制強化による地域活性化事業** 【麒麟のまち日本遺産魅力発信推進事業費】

日本遺産を活用した稼ぐ地域づくりを構築するための情報発信、商品造成、普及啓発等の取組を支援する。

● **インバウンド等受入体制整備事業**

- ・日本遺産情報発信拠点整備事業：日本遺産のストーリーをPRするための拠点を整備・運営する。【麒麟のまち日本遺産魅力発信推進事業費】
- ・観光2次交通環境充実・強化事業：市内周遊バスのキャッシュレス対応、シェアサイクル事業や乗合タクシー運営支援により誘客を促進する。【ループバス運行支援助成費】【砂丘管理事業費】
- ・ナイトタイムエコノミー創造事業：鳥取砂丘や街なかにおける夜間コンテンツを創造することで、外国人観光客の滞在性向上を図る。【鳥取砂丘イリュージョン開催補助金】【まちなか観光推進事業費】
- ・情報発信ツール多言語化事業：鳥取市観光サイトの多言語化を図り、インバウンド向け情報発信力の強化を図る。【観光協会等補助金】
- ・日本遺産拠点施設整備事業：日本遺産構成文化財に隣接する歴史的建造物を活用し、認知度向上や、更なる観光誘客を促進する。【観光地再生・高付加価値化事業費】
- ・インバウンド需要拡大事業：海外現地で影響力のあるインフルエンサーや、SNS等を通じた情報発信と、訪日外国人向け観光案内拠点の運営。【国際観光推進事業費】

● **歴史・文化・郷土芸能等を活用した圏域の魅力発信・普及啓発事業**

- ・麒麟のまち聖地巡礼フォトラリー事業：日本遺産の構成文化財等を巡るイベントにより、麒麟のまち圏域住民の日本遺産への愛着度を高める。【麒麟のまち創生推進事業費】
- ・万博会場多目的エリア観光PR事業：関西万博会場においてPRイベントを開催し、知名度向上、国内外からの誘客促進につなげる。【大阪・関西万博誘客アクション事業費】
- ・関西情報発信拠点推進事業：インバウンドを本圏域に誘客を図る関西圏域の拠点整備・運営。【関西情報発信拠点推進事業費】

● **人材育成事業**

- ・麒麟のまち圏域学生・若手社会人交流事業：圏域内への若者定着を促進するため、圏域内の学生と若手社会人がつながる機会を創出する。【麒麟のまち圏域学生・若手社会人交流事業費】
- ・観光人材養成事業：インバウンド需要などの増大に伴い、人による受入環境の体制充実を図るため、観光ガイド人材の養成を図る。

③ 鳥取市の新年度の主な地方創生交付金事業 2

鳥取型デジタル人材育成・活用プログラム実践事業 令和7年度～令和9年度 期間事業費 67,460千円

- **地元側デジタル人材育成に向けた取り組み** 【デジタル人材育成・活用プログラム実践事業費】
 - ・デジタル人材育成プログラム構築業務：デジタル人材育成プログラム開始に向けた調査業務
- **県外リモート人材確保（転職なき移住）にむけた取り組み** 【デジタル人材育成・活用プログラム実践事業費】
 - ・県外リモート人材を対象とした地域課題解決プログラムの実施：全国のフルリモート人材を対象に関係人口構築プログラムを実施し、本市の魅力を伝え、関係人口の構築を通じて転職なき移住者の増加を目指す。
- **県外企業のリモート人材開拓に向けた取り組み** 【デジタル人材育成・活用プログラム実践事業費】
 - ・拠点（サテライトオフィス）誘致支援業務：地方への進出を検討する企業や誘致戦略におけるターゲット企業をピックアップし、訪問する。
 - ・地域課題解決型のマッチングイベント参加：企業と自治体のマッチングイベント「チャレンジ！つながるニッポン」に参加し、地域課題を解決する企業と繋がる機会を創出する。
- **地元企業への人材確保に向けた取り組み** 【デジタル人材育成・活用プログラム実践事業費】
 - ・地元企業向けリモート人材活用セミナーの実施：地元企業に専門人材を派遣し、外注・アウトソーシング可能な業務を可視化する支援を行い、リモート人材の活用による生産性向上と人手不足の解消を図る。



③ 鳥取市の新年度の主な地方創生交付金事業 3

多様な担い手の育成と販路の拡大による農山漁村活性化事業 令和7年度～令和9年度 期間事業費 326,186千円

● **新たな農林水産業を振興するためのプラン策定** 【新たな農林水産業振興に係る計画策定事業】

鳥取市の農林水産業を振興するための、人材育成・生産から販売まで一貫した施策立案を行う。

● **特産品創出と販路の拡大** 【麒麟のまちうまいもん販路拡大事業】

- ・ マルシェや商談会、新商品開発支援：地元生産者の生產品・加工品のマルシェやECを活用した販路拡大の支援。新商品開発支援
- ・ インターネットモール・リアル店舗の運営支援：物産振興のために行っている商店街に存する店舗『ふるさと物産館』の運営に対する補助。連携中枢都市圏の物産店舗（220店舗）のECモールのカスタマーセンター運営に対する補助。【物産振興体制強化事業費】
- ・ 公設市場で行う食に関するイベント委託：特産品創出と販路の拡大のため、公設地方卸売市場の再整備の竣工式とあわせて行う食品PRイベント公設卸売市場の再整備完了時に食品PRイベントを実施する。【物産振興事業費】
- ・ 営農アプリ導入運用支援 【次世代農業推進事業】
- ・ 鳥取環境大学への特産品成分分析の業務委託：特産品の成分分析を行い、成分上の特色を発見しブランド化を促進。【物産振興事業費】

● **地域資源を活用した新たな特産品の創出**

- ・ 鳥取県産木材の建築資材への活用：鳥取県産木材の建築資材への活用に関する支援を実施する。【木材利用促進事業費補助金】

● **中山間地域農地の維持活性化事業** 【予算なし】

- ・ 農地の維持・再生に係るモデル地域での実証



● **温泉熱を活用した新たな特産品産地づくり**

- ・ 鳥取市気高町地域内に存在する浜村温泉の温泉熱を活用し、コーヒー・カカオ・バナナといった熱帯作物の栽培実証を行うため、水田を畑地化し栽培設備を整備する。【企業誘致推進費】

③ 鳥取市の新年度の主な地方創生交付金事業 4

鳥取市まちなかビジネス・コミュニティ拠点整備事業

令和7年度 期間事業費 180,400千円

●鳥取市まちなかビジネス・コミュニティ拠点整備 【まちなかビジネス・コミュニティ拠点整備事業費】

本市中心市街地のJR鳥取駅近くに位置し、一部が遊休不動産となっている民間所有のビルをリノベーションし、「鳥取市まちなかビジネス・コミュニティ拠点」として整備する。

「若者が憧れる職場の確保」「都市部と地元企業・人材の交流促進」「ビジネスマッチング・新ビジネス創出支援」「起業・創業支援」の4つの機能を持たせるため、3つの空間（サテライトオフィス、コワーキングスペース、ミーティングスペース）を整備する。

交流の主なターゲットにはゼブラ思考を持つ企業・人材を想定し、地域課題解決やまちづくりへの貢献を目指す。

●サテライトオフィススペース

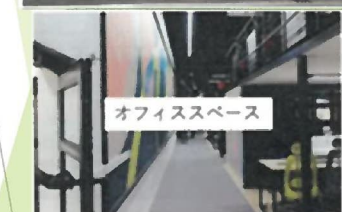
都市部企業が入居するためのサテライトオフィススペースで、入居企業の社員のみの出入りとなるよう入退室管理システムによるセキュリティを確保するとともに、防音性を確保することで秘匿性が高い情報を扱えるオフィスとする。

●コワーキングスペース・コミュニティスペース

都市部と地元企業の企業・人材が、テレワークや交流など多目的に使用できるスペースで、様々な人が集まり、ビジネスやまちの将来について自主的に話し合う場・考える場を創出する。企業の成長やまちづくりに資するため、イベント・セミナーを催す際の会場としての利用も行う。

●ミーティングスペース・個別ワークスペース

企業間の打ち合わせなど、クローズな環境で打ち合わせができるスペースを確保する。個室のワークスペースを設備することで、機密性の高い情報を取り扱うリモートワーカーのニーズにも応える。



④ 国府地域の新年度の主な事業 1

主要イベント開催費
7,791千円

大伴家持大賞
3,070千円

第29回大伴家持大



万葉集朗唱の会
1,500千円



長期継続イベントは
内容、経費を見直しつつ
実施

フィッシングフェスタ
1,770千円

開催30回
最終年度



こどもまつり
570千円

R7.7.1 大阪関西万博
鳥取県の日出演決定



因幡の傘踊りの祭典
881千円

④ 国府地域の新年度の主な事業 2

雨滝トイレ移転新築事業 (R7~R8)

事業費 42,561千円

R5.台風7号災害で被災した雨滝トイレを「瀧の傘」周辺に移転新築する。
事業主体は雨滝自治会。市が全額補助したうえで整備し、維持管理を自治会に委託予定。

【事業の内容】

R7 水脈電気探査、削井工、トイレ設計	19,984千円
R8 トイレ工事	22,577千円(見込み)
	計 42,561千円

※新たな井戸の整備により瀧の傘、トイレへの飲料用水を確保



④ 国府地域の新年度の主な事業 3

神護かやぶき交流館屋根一部改修

事業費 12,500千円

国府町神護地区において、かやぶき交流館を活用して拠点をつくり、イベント開催、ブランド品開発を行う地域組織（きりんのまち・愛プロジェクト）の取組を支援することにより、地域活性化を図る。

【事業の内容】

中山間地域の遊休施設を活用して、ハード・ソフト両面から総合的に地域活性化に取り組む事業への補助。 補助率5/6（県間接補助5/12、市5/12）



8